

1~6面 ルッキズム

7面 世界YWCA新総幹事メッセージ

The Young Women's Christian Association YWCA

(第32総会期主題聖句) 平和を実現する人々は幸いである

(日本YWCAの使命(ミッション)) イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する

- (日本YWCAのビジョン) 地域で女性達が主体的に活動することを通して、以下の社会をめざします。 (1)平和憲法が守られ、核も暴力もない社会 (2)女性と子どもの尊厳を守る社会 (3)若い女性がリーダーシップを発揮する社会 (4)多世代・多文化で多様な背景を持つ人びとを尊重する社会

4

APRIL 2019 No.749

www.ywca.or.jp



実は私たちの大問題!?

ルッキズムを探ろう

Lookism

外見評価から生じる生きがい

中国で「そばかす」をめぐる論争が起きています。インターネットのニュースサイトによると、スペインのアパレルメーカーZARAが新商品の広告写真に中国人モデルのジン・ウェンさんを起用した際に、そばかすを隠さず自然体で撮影したことで、中国のソーシャルメディアが炎上。昔から中国ではシミのない透き通った肌が美しさの基準とされているため、そばかすを隠さない写真は「中国やアジアの女性を貶めている」「中国人を醜く見せている」などと大きな反発を招いたそうです。

タカ 他人事とは思えない。私も、小さい頃から「そばかすだらけ」とからかわれて、コンプレックスだったの。外見の特徴を否定されることで人生にも影響が及ぶと思う。

チコ 最近、ルッキズムが話題になることが多いよね。タカ ルッキズム? チコ 外見への評価によって生じる差別や偏見などの問題をルッキズムというの。聞きなれないかもしれないけれど、近年注目されているのよ。タカ 外見による差別や偏見か。チコちゃん、よく知ってるね。でも、美男美女が優遇されるのは「あるある」だよ。モヤモヤするけど、世の中そんなものだと思っけ。

チコ 「みんな違って、みんないい」と言ってる社会で、外見評価によって疎外されたり、生きづらさを感じたりする人がいることが当然って、おかしいと思わない? タカ そう言われると……おかしい。チコ でしょ。これって私たちの人権に関わる問題なの。ポイントとしてられないよ。

イラスト/大島史子

エンパワーするNGO



「ほんとうない」って聞かされてる側から見た社会の話。

小川たまか/著 タバックス/発行 1,600円+税

暴力被害、痴漢犯罪、年齢差別、ジェンダークセ、女性蔑視CM、#MeToo……。本書は、女性たちが受けているさまざまな「痛み」への違和感や怒り、悲しみに向き合い、ていねいに言葉にした記録と言えます。建前では「男女平等」と言いつつ、実際には女性に対等でないことを当たり前に成り立っている社会、女性たちへの一方的な規範や視線がまだまだに受容されている社会、法的、政策的、社会的にも女性が暴力から十分に守られていないと言えない社会……。著者は「ほんとうないこと」について「側」からは見えない複雑なことを、「ほんとうないこと」にされている「側」からありのままに書くことで、「どうしてこんなことになっ」と問いかけていくかのようです。

編集部 西文字

book review

ご協力ありがとうございます

- 賛助費 岡野峻 田中倍子 岩崎妙子 乾康子 藤井初子 鹿野幸枝 田中宏子 野村春江 比企教子 渡辺園子 河越良子 後藤光彦 原田早苗 阿部幸子 中尾廣美 田中蘭子 古西正子 益田明美 淀川敬子 阿部万子 白木直江 清塚典子 石渡能子 原田由美子 設楽順子 安倍愛子 伊藤眞智子 宮澤玲子 柳津津保 木田みな子 古谷都紀子 中山美津江 由良喜久子 江尻美穂子 日本キリスト教団東北教会 日本キリスト教団北教会 日本キリスト教団ひばりが丘教会 一般財団法人平塚YWCA

- (熊本地震被災者支援募金) 長崎YWCA (北海道地震被災者支援募金) 清塚典子 大川孝子 岡田正啓 国際基督教大学高等学校キリスト教活動委員会 東京ワイズメンズクラブ 相浦光キリスト教会 東京YWCAまきは保育園 福岡YWCA合同祈禱会募金 仙台YWCA 甲府YWCA 公益財団法人横浜YWCA 公益財団法人名古屋YWCA 公益財団法人名古屋YWCA 松山YWCA 東日本大震災被災者支援募金 牧南 松田美鶴 藤井初子 下村昭子 野村春江 島田由香 阿部幸子 山本鉄子 古川道子 堀尻和子 外山真理 設楽順子 清水嶋孝 伊藤眞智子 木田みな子 中山美津江 由良喜久子 江尻美穂子 地球つづくらぶ・善隣館 The New YWCAコンサート募金箱 日本YWCAコンサート募金箱 0422キリスト教合同プログラム実行委員会 美唄めぐみ幼稚園 玉成保育専門学校 シオン幼稚園 ヘスタロッツ保育園 大森ルーテル幼稚園 学校法人捜真学院 捜真女学校文化祭実行委員会 女子学院高等学校 高3模擬2013年入学年 南静園聖ミカエル教会 日本聖公会石橋聖トマス教会 日本福音ルーテル大森教会 弘前YWCA 福島YWCA 一般財団法人平塚YWCA 公益財団法人神戸YWCA 長崎YWCA カイロサポーターズ 54名 (2018年12月16日~2019年2月15日現在 敬称略)

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室 Tel. 03・3292・6121 Fax.03・3292・6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp 編集発行人 実生律子/偶数月1日発行

旬な情報発信しています | メルマガ登録 y-net@ywca.or.jp | お名前を送ってください / フェイスブック www.facebook.com/YWCAJapan 無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。 メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp

ルッキズムを
探ろう

外見評価の モヤモヤに、 どう対処する？

Lookism

ルッキズムという外見による差別の問題。「外見で差別された経験はない」と思っている人も、人生のどこかで被害、あるいは知らないうちに加担しているかもしれません。ルッキズムについて、西倉実季さん(和歌山大学准教授)に聞いてみました。西倉さんは、外見にもとづく差別や女性にとっての美醜の問題を研究しています。

女性に求められている
美しさの基準から外れると

西倉 ルッキズムとは、外見にもとづく差別または偏見のこと。魅力的とされた人が優遇されると同時に、魅力的でない人とされた人が機会の否定を通じて不利な立場に置かれることです。それによって生きづらさを感じている人もいます。

外見評価による生きづらさのケースを見てみましょう。これは、疾患などにより外見に症状を持つ女性たちの証言です。

Aさん (30代前半)の証言

小さいときから男の子に「お嫁さんに行けない」と言われたり、いじめられた。中学生になったらもうちょっと陰湿になって、

(自分が)そばを通ったり、顔を見たときに、みんなで「かわいいねー」とか「つきあってー」とか。それこそ何十人とかではやし立てられたりして。実際は反対のことを言わんとしていたのだけ。

Bさん (20代前半)の証言

女に生まれて、タレントさんや女優さんの化粧品をCMを見てても、自分は絶対にこの人たちのようにはなれないというか……。いつとき、CMに出てくる女優さんに対して、ねたみ。嫉妬。そういうCMを見るのがイヤな時期があった。

Cさん (20代後半)の証言

やっぱり女性って、小さくてかわいらしいというのが、美のひとつのあり方として

存在するんじゃないかと思って。それが(自分は)だんだん大柄になってくる。横にも、縦にも大きくなって。なんかもう、あえて女を捨ててましたね。それでしか対応できなかった状態ですね。かわいくなりたいたい意識すると、すごい傷つく。ファッションも意識し始めると自分が普通の服着られないとか考えてしまっって、結構つらくなるので、そんなもの興味ないとか。本当は興味持たないんですけど、あえて持たないようにして、どうにか保ってました。

西倉 この3人に共通することは、女性として求められる特定の「美しさ」の価値や規範からの疎外です。Aさんは外見についての直接的なハラスメントを受けています。BさんとCさんは、外見に関してメディアが発信する言説の中に、間接的に、自身自身に対する否定的な評価を読み取っています。美醜は序列概念なので、魅力的とされた人が優遇されて有利な立場に置かれると同時に、必然的に他の誰かの醜さを暗示してしまうのです。

タカ あるある！直接的に「そばかすは醜い」と言われたことはないけれど、「シミのない澄んだ肌」を魅力的なものとする風潮は、そばかすを否定されているように感じる。

さまざまな差別の要素が絡み合っている

西倉 こんなケースもあります。アメリカ



「隠すことへの後ろめたさ」を感じる人もいます。

タカ メディアが発信する美容の提案も、「美しさの基準に合わせて隠したり、補ったり、修正していけばよい」が基本姿勢だよね。

チコ ある新婚の女性は、夫が寝てからメイクを落として、夫が起きる前にメイクをしているけど、後ろめたさって言ってたわ。

対処2 視点を変える、 発想を転換する

ある脱毛症の女性は髪がない人をからか

う世間の風潮に苦しんでいました。しかし、問題の所在は脱毛の自分にあるのではなく、日本の社会にあると気が付きました。若々しさに価値を置く日本人の特性が風潮をつくりだしているのではないかと。この女性は「理想」とされている美しさの範疇をこえて、スキンヘッドに合うファッションを自ら提案し、発信しています。

また別の女性は、外見評価に振り回される自分自身の狼狽ぶりをユーモアに変えて、発信しています。彼女たちは、外見評価にとられる自分から距離をとることができるといえます。

タカ 抗がん剤や疾患でスキンヘッドになった女性の写真を見たことあるけど、ありのままの姿を誇る美しさがあった。毛髪の有無は、もはや関係ないと思った。

チコ 問題の所在を変えるという対処は、見た目の問題で生きづらさを感じているすべての人に有効じゃないかしら。

西倉 美醜の問題はとかく自分を責めがちです。「私の外見が問題」ではなく、問題は私の外にあり、それによって苦しめられている、と発想を転換することが重要です。

そうすることで、閉塞状態に陥らず、生きづらさの緩和方法を考えていくことができるといえます。自分のなかで外見評価に対する意識を

のあるファッションブランドは、店舗内の販売員を白人に限定し、体重増加の兆しのある人や民族色が強過ぎると判断された人を辞めさせました。これもルッキズムの典型です。ルッキズムの背景には性差別(セクシズム)、人種差別(レイシズム)、年齢差別(エイジズム)、障害者差別(エイブリズム)などさまざまな差別要素が絡み合っています。

自分の中の枠を超える、 ルッキズムを超える

西倉 外見評価をめぐって生きづらさを感じている人たちは、実際にどう対処しているでしょう。これまで否定的に評価されてきた女性たちのケースを紹介します。

対処1 とりあえず隠す、 修正する

たとえば、疾患や外傷により顔にあざがある女性、全身の毛が抜ける脱毛症の女性たちにとって、カムフラージュメイクやウィッグは、外見評価をめぐる生きづらさに対して即効性が期待できます。その一方で、

変えていくのです。

タカ 個人の意識を変えることは大切だと思う。でも結局、外見評価する人たちが社会そのものは変わらないよね。

西倉 そうでしょうか？ スキンヘッドの女性の写真を見てこれもありかなと思ったでしょう。そうやって、これまで語られなかった「新しい美」のストーリーが他者と共有されることで、個人の意識以上のものになります。「こうでなければ美しくない」といった支配から解放されるのです。

対処3 「美」の枠組みを 広げよう

ニューヨークの写真家を中心となって、外見に疾患のある女性たちを「Redefining Beauty」(美しさの再定義)として撮影するプロジェクトがあります。アルビノという疾患をもつ女性の写真は、既存の美の概念に揺さぶりをかけました。

メディアに働きかける取り組みもありますが、外見に外傷や疾患のある人は悲惨な人生を送ったり、悪者として描かれたりしますが、ポラリタディーズは、そうしたメディアの誤解や偏見を変えていこうと働きかけています。また、高名な写真家が、気鋭のデザイナーの服を着たこの女性たちを撮影するプロジェクトでは、ロンドンのファッションウィークにも出演しました。

西倉 これらのプロジェクトは外見評価をなくそうとするものではなく、社会がつくりだしている狭い美の枠組みを相対化し、

※色素が生まれつき少ないことで、髪や皮膚、瞳の色が薄くなる遺伝子疾患

『私の人権のはなし』

発行記念

ユース対談

生きづらさの正体は、ルッキズム!?

本号でルッキズムを特集する発端となったのは、ブックレット『私の人権のはなし』でした。発行したのは、日本YWCA日韓ユース・カンファレンス実行委員会。20代のメンバーが自分たちに身近な「ルッキズム」をキーワードに、日常の生きづらさから見えにくくされた人権問題を考えた記録です。ブックレットの発行を記念して、実行委員の福田百さんと大倉菜里さんに、ルッキズムについてざっくばらんに語っていただきました。



きないって悩んでいた。どうしたら外見差別はなくなるのかな？

大倉 人に対して苦手意識や偏見があっても、何度も接してさまざまな面を知ることで見方が変わってステレオタイプが崩れたりすることってある。もしかしたら、百ちゃんの知り合いもその同級生と時間を過ごすうちに、感情が変わったりしないかな。

それに、その方は自覚している。そもそも差別をなくしていくには、ルッキズムに加担している自分に気づくことも大事だと思う。

福田 そうだね。社会の価値観の中で、自分でも知らないうちに差別をしている人は少なくないよね。

それと、これは他の社会問題にも言えることだと思うけど、ルッキズムで悩んでいる人にこそ、変える力があると思う。「これって、おかしい」というモヤモヤがあるから、声をあげることができれば、今は悩んでいない人も次第に巻き込んで、社会に疑問を投げかける大きなうねりになるんじゃないかな。

大倉 うん。西倉先生がルッキズムへの対処法として、美の枠組みを広げることが提示していたけど（3～4面参照）、個々人が意識を変えていっていかなくて、ああやって社会全体で既存の「美しさ」の枠組みを変えていくことも大事だよ。

私たちにとって身近なルッキズム、もっと多くの人に知ってほしいね。

対談 神戸YWCA会員 福田 百
東京YWCA会員 大倉 菜里

ルッキズムは日常に隠れている!?

福田 実は私の場合、自分の顔がもっとこうだったら……と思うことはあっても、これまで外見評価について深刻に考えたことがなかった。でも、一年かけてルッキズムについて講演会やワークショップを実施して、考えを深めた結果、外見評価による生きづらさが、社会的な問題なんだって気付いたんだ。今では、日常のさまざまな事柄にルッキズムが隠れているのではないかと、注意深く見るようになった。



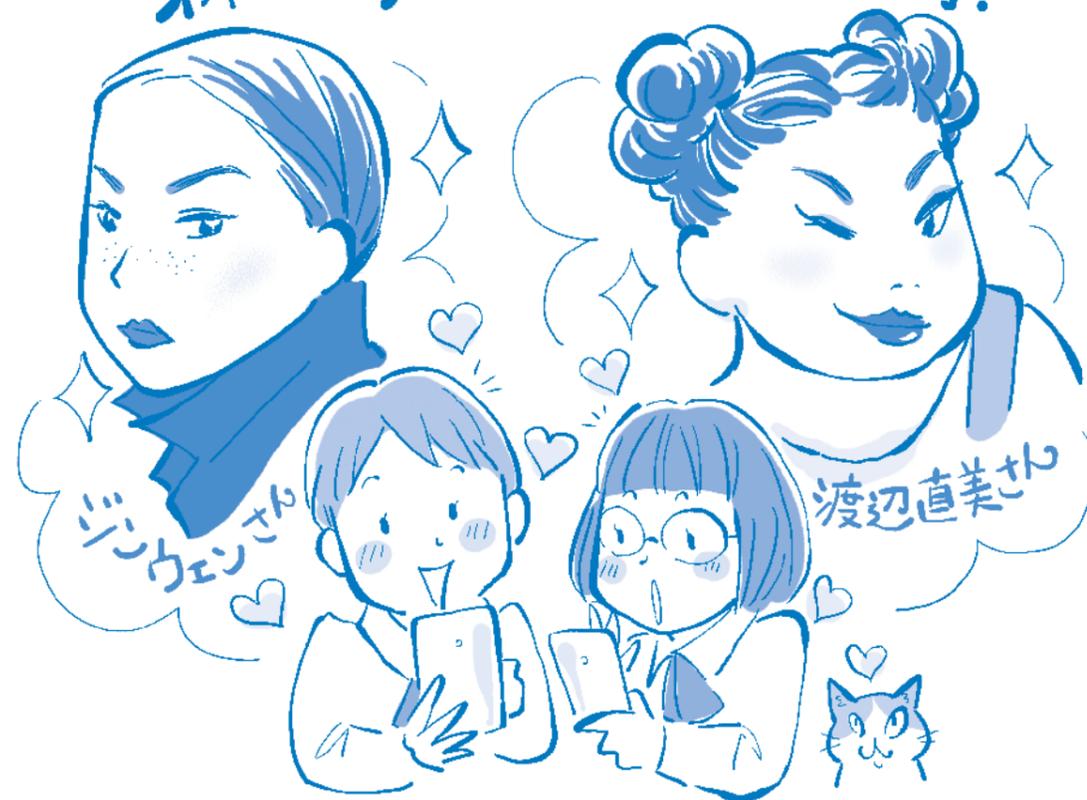
菜里ちゃんの周りで、「これ、ルッキズムなんじゃないか」と思うことってある？
大倉 最近、韓流メイクが流行っているよね。ファンデは白、アイラインとリップは濃くハッキリ、っていう特徴のある化粧なんだけど、周りを見ると、こういう化粧をした外見だけが「美しい」と思われている傾向があるように思えて、モヤモヤしている。「美しさ」って、もっといろんな姿があるよね、って。
福田 流行ってるよね。私の周りにも多いよ。
大倉 一方韓国では、そういったスタンダードな「美しさ」に抵抗する動き

外見差別をなくすために何ができるだろう

福田 疾病によって外見に症状が表れることもある。私の知り合いは、病気で外見に特徴を持っている同級生に対して、頭では理解しているのに、他の同級生と同じように接することがで

きないって悩んでいた。どうしたら外見差別はなくなるのかな？

新しい美のストーリーを共有!



広げようとする試みです。ルッキズムに対峙するには、メディアなどで描かれている既存の「美」の定義の狭さに批判的な目をもつことが大切です。私たちが外見に左右されずに生きることが現実的ではありません。好みの問題もありますよね。でも、美しさは普遍なものではなく、時代や文化によって変わるものです。
チコ 安室奈美恵ちゃんがブレイクした頃は、マシユマロ肌からほど遠い小麦色の肌もてはやされたよね。
新しい美のストーリー
西倉 先ほどのプロジェクトが成功した要因は、同じような問題に苦しんでいる人が連帯していること。そして、写真家やファッションデザイナーなど「美」を発見・創造して発信する専門家を巻き込んで展開したことにあります。
タカ メディアの言説に苦しんでいる女性たちと連帯できそう。#MeToo運動のように皆で立ち上げれば何かが変わるかもしれない。
西倉 社会的に作られた「美」の枠組みに自分をあわせようとするのではなく、多様で新しい「美しさ」のストーリーを発信したり共有したりすることが、ルッキズムにとらわれた社会を変えていくきっかけになるのではないのでしょうか。
チコ 新しい美のストーリーの発信者とい

西倉 実季

Miki Nishikura

profile

和歌山大学教育学部准教授
専門分野は社会学、ジェンダー論。外見に表れる疾患や外傷をもつ女性たちへのインタビュー調査を継続し、外見にもつく差別や女性の美醜の問題について研究している。主著に「顔に愛のある女性たち―「問題経験の語り」の社会学」(生活書院)、「美醜評価を生き抜くために―美醜ハラスメント被害とその対処方法」(『女性学』第21号)など。

構成 編集部

えは、タレントの渡辺直美さんかな。「既成概念を打ち破る女性」として海外のファッション業界でも注目されているよ。
タカ 既成概念を打ち破る女性！
チコ そう。「美しさは個性」「自分らしさを愛する人は、誰もが美しい！だから、私は美しい！」と語る直美さんの生き方は多くの人を魅了している。
タカ 私のそばかすも、私らしさ……。
チコ そうそう。誰よりも自分自身が「私らしさ」を尊重することが大事なこと。直美さんも踊った「Born this way」ね。
冒頭のそばかすをめぐるニュース。中国のSNSでもジン・ウエンさんの自然体の美しさを支持するユーザーも多く、「美しさにも多様性があるべきだ」といった意見もあったといえます。記事によると、ジン・ウエンさんは子ども時代、そばかすが自信のなさにつながっていたそうですが、今では好ましく思うようになったとか。現在トップブランドのモデルを務めるなど、モード界で活躍しています。

※日本YWCA日韓ユース・カンファレンス実行委員会主催イベント「私の人権のはなし」の基調講演「美しさは誰が決める？」をもとに構成しました。

出典 / [BBC News Japan]、[CINRA.NET]、[Record China]

大きな熱意と、また謙虚な気持ちをもって、第15代世界YWCA総幹事として皆さまの一人ひとりにご挨拶します。私たちが共に2035年に向けた「変革をもたらす大胆な目標」を達成するため、運動を強化・維持し、とくに若い女性のリーダーシップを育成するために、成し遂げるべきことは



世界YWCA総幹事
ケイシー・ハーデン
Casey Harden

世界YWCA新総幹事メッセージ 私たちに限りない力と可能性がある

たくさんあります。若い女性と少女たちがよりよい形で権力構造を変革し、ジェンダー平等・平和・安全な世界を実現できるよう、世界YWCAは、私たちの多世代で世界的なネットワーク、認知度と活動の妥当性、世界YWCA事務局の役割、組織運営と説明責任などをさらに強化する体制を整えています。直面する課題は多く、困難かもしれませんが同時に、私たちの目前にはとても魅力的な可能性が広がっています。YWCAは、私自身のこれまでの成長の中で、とても大きな役割を果たしてきました。そして今でも、生涯変わらぬ正義へのコミットメントと、コミュニティーの力を

理解する大切な試金石であり続けています。YWCAは、少女、若い女性、女性たちが、不正義に立ち向かい世界を変えてきたこと、これからも変え続けて行くことを明確に示しています。少女と女性の権利、若い女性のリーダーシップ、そして正義・自由・尊厳は、特権ではなくすべての人の持つ権利です。そうした前提を中心とする私たちのミッションは、私の道しるべであり力の源です。私たちが一人ひとりにとつてもそうだと信じています。ジェンダー公正の実現には勇気、忍耐、創造力、そして固い決意が必要であることは、歴史が示すとおりです。そして、歴史はこのことも示しています。少女、若い女性、女性たちが、個人として、または世代やアイデンティティの枠を越えて協働しながら、変革する意志を固めたとき、私たちの力は計り知れないことを。

翼のあるユースたちのリーダーシップ養成にご協力をお願いします!

いまYWCAでは、10～20代のユースたちがそれぞれの地域で活動しています。彼女たちは、自分の意思で選択し、決定するチカラと権利があることに気づき、YWCA運動に主体的に参画しています。そして、すべての若い女性と少女が自分らしく、ありのままに生きられる社会をつくりだそうとしています。

私たちは、翼のあるユースたちが、それぞれの地域を越えて、たくさんの出会いとチャレンジを重ねて、羽ばたいてほしいと願っています。共にユースを支えるため、「次世代育成資金」に、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



募金の送り先

郵便振替 00170-7-23723
加入者名 公益財団法人 日本YWCA
※通信欄に「次世代育成資金」、ご住所、お名前をご記入ください。



若い女性と少女が社会を変革するために

今年1月、世界YWCA総幹事にケイシー・ハーデンさんが就任しました。2035年に向けた目標の達成をめざして、YWCAはさらに躍進し、若い女性と少女たちのリーダーシップを推進します。

理解する大切な試金石であり続けています。YWCAは、少女、若い女性、女性たちが、不正義に立ち向かい世界を変えてきたこと、これからも変え続けて行くことを明確に示しています。少女と女性の権利、若い女性のリーダーシップ、そして正義・自由・尊厳は、特権ではなくすべての人の持つ権利です。そうした前提を中心とする私たちのミッションは、私の道しるべであり力の源です。私たちが一人ひとりにとつてもそうだと信じています。ジェンダー公正の実現には勇気、忍耐、創造力、そして固い決意が必要であることは、歴史が示すとおりです。そして、歴史はこのことも示しています。少女、若い女性、女性たちが、個人として、または世代やアイデンティティの枠を越えて協働しながら、変革する意志を固めたとき、私たちの力は計り知れないことを。

を達成し、少女・若い女性・女性たちの限りない力を目の当たりにする。そんな未来の実現を決意することで、私たちの歴史を尊重しなくてはなりません。この大きな目標に向かって、皆さまの一人ひとりと肩を並べて、また連携しながら、共に取り組むことを楽しみにしています。

ブックレット『私の人権のはなし』をご紹介します

ルッキズムから見えてくるもの

若者向けの学習会で活用できる小冊子

日本YWCA日韓ユース・カンファレンス実行委員会から、ブックレット『私の人権のはなし—私たちにあって「美しさ」とは何か?』が発行されました。実行委員の若いメンバーが企画から編集まで一貫して担当。これまでに企画したイベント報告、外見評価に

よる差別の事例紹介、ルッキズムに関するアンケート結果の日韓比較、考え方のポイントを記したワークショップ集、そして韓国YWCAの若者の声をまとめています。

オールカラーで読みやすいレイアウト、親しみやすいポップなデザインも魅力。手にとりやすいポケットサイズの一冊です。

若い世代にとって敷居の高い人権

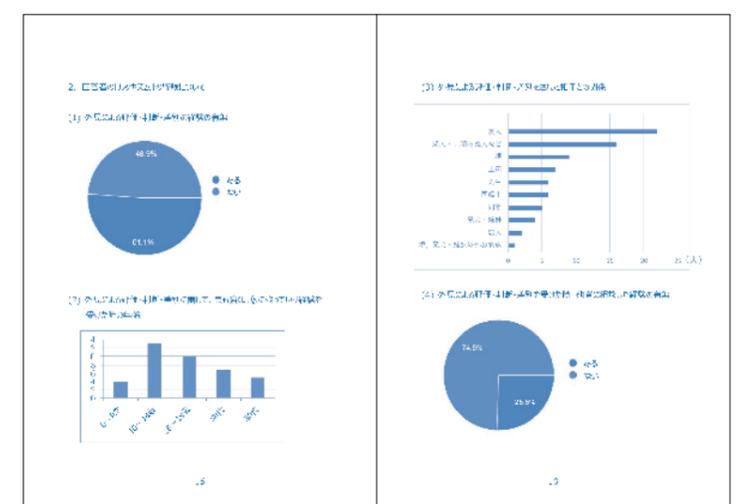


A5版 / 30頁 / 本体無料

や社会問題の学習会やセミナー、ワークショップなどのテキストとして活用できます。また、ルッキズムは比較的新しい概念なので、レポートのテーマやメディアの企画にもお勧めです。紙版と電子版のほか、韓国語版（電子版のみ）もあります。

私たちにとっても身近な問題ルッキズムを通して、実は大切なのに見えにくくされている人権について考えるきっかけにしてみよう。

構成 編集部



読んでみよう
電子版 (PDF)
日本YWCAウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.ywca.or.jp/pdf/2019/0301.pdf>

紙版 (送料のみご負担)
下記アドレスに、①送付先の住所 ②氏名 ③電話番号 ④必要部数を記入し、件名に「ブックレット希望」と明記して送信してください。
office-japan@ywca.or.jp

問い合わせ
日本YWCA日韓ユース・カンファレンス実行委員会
TEL.03-3292-6121

